

石鹼玉	通行の妨げとなる石鹼玉	2023. 9. 28	夕立	吟行に夕立賜ることもかな	2023. 9. 28
雛祭	雛の間を締め出されたる大人かな 雛の間を締め出されたる男たち 雛の間を締め出されたる父と兄	2023. 9. 30		吟行に夕立たまはることもかな 吟行に夕立たまはる奇遇かな 吟行の大夕立や合ッ点じゃ	2023. 9. 29
燕	大学の中のビル群燕来る 大学の中のビル群初燕	2023. 9. 30	土用波	肩組んで前へ前へと土用波 肩組んでこちへこちへと土用波 肩組んでこちらへ迫る土用波 肩組んで迫り来るなり土用波 土用波徒党を組んで迫り来る 土用波徒党を組んで来りけり 土用波徒党を組んで立ち上り 土用波徒党を組んで立ち上る 土用波肩組み合つて立ち上る	2023. 9. 28 2023. 9. 30
			昼寝	水平に畳の上に昼寝覚 捨て置かれ畳の上に昼寝覚 昼寝覚畳の上に捨て置かれ	2023. 9. 28
			揚羽蝶	揚羽蝶大きな息を吐くならむ 黒揚羽大きな息を吐くならむ 揚羽蝶大きく息を吸うてより 黒揚羽ゆつくりと吐く息ならむ 黒揚羽息吐くことも忘れずに 黒揚羽ひらひらと息吐くかしら 黒揚羽ひらひらと息吐くならむ 吐く息を人こそ知らぬ黒揚羽 白も黄も小さかりける黒揚羽 白も黄も蝶は小さし黒揚羽 白も黄も小さな蝶や黒揚羽	2023. 9. 28 2023. 9. 29
			鰻	鰻食ふウナ電といふ昔かな 鰻食ふウナ電といふ昔あり 鰻井やふとウナ電といふ言葉 鰻井やふとウナ電といふ単語 鰻井や昔ウナ電・ウナコーワ 鰻井にふとウナ電といふ言葉	2023. 9. 30

夜長	タテの列ヨコの列夜の長きかな	2023. 9. 29	着膨れ	着膨れてめでたく齡重ねけり	2023. 9. 16
	タテヨコの列を埋めゆく夜の長き	2023. 9. 30		着膨れてめでたく齡重ねたり	
	タテヨコに文字を埋めゆく夜の長き			重ね着て齡めでたく重ねたり	2023. 9. 27
	縦横に文字を埋めゆく夜の長き			重ね着て齡めでたく重ねつつ	
	タテヨコに文字を埋めゆく夜長かな			重ね着て齡めでたく重ねをり	
	タテヨコに文字を嵌めゆく夜長かな			重ね着て目出度く齡重ねをり	2023. 9. 28
霧	倫敦の霧の茶店の紫煙かな	2023. 9. 28		重ね着て目出度く齡重ねをる	
貝割菜	貝割つて身のなき哀れ貝割菜	2023. 9. 28		重ね着て動かざること亀の如	2023. 9. 29
	貝割つて虚ろなりけり貝割菜	2023. 9. 29		重ね着て齡も重ね亀の如	
				着膨れて亀の如くに顔を上げ	
			納豆	賽の目の豆腐も入れて納豆汁	2023. 9. 28
				欲張つて豆腐も入れて納豆汁	2023. 9. 29
				納豆汁豆腐も入れて豆尽し	
				納豆汁豆腐も入れて大豆変	
				納豆汁豆腐も入れて大豆尽	
				納豆汁豆腐も入れて皆大豆	
			木の葉	白髪を紫に染め老いゆくも	2023. 9. 28
			髪	木の葉髪紫に染め老いゆくも	
				木の葉髪うす紫に染めてもや	2023. 9. 29
			水仙	この部屋を見廻してゐる水仙花	2023. 9. 29

旧年	新年や遮光ガラスの薄みどり	2023. 9. 23	歌留多	独逸語はカルテなりける歌留多かな	2023. 9. 24
	旧年や遮光ガラスの薄みどり			独逸語はカルテと言へる歌留多かな	2023. 9. 25
	去年今年遮光ガラスの薄みどり			独逸語はカルテとも言ふ歌留多かな	
人日	人日や昭和遠しと思ふのみ	2023. 9. 23		独逸語ならカルテとも言ふ歌留多かな	
	人日の昭和遠しと思ふのみ			独逸語ならカルテと書ける歌留多かな	
松過	松過の大根を抜く畑かな	2023. 9. 23		独逸語ではカルテとなりし歌留多かな	
	松過の大根畑に風が吹く			漢字なら歌留多片薬師ならカルテ	
	松過の大根抜きたる畑かな			漢字なら歌留多片病気ならカルテ	
四日	三が日過ぎて四日となりにけり	2023. 9. 23		漢字なら歌留多片病ひならカルテ	
	三が日過ぎて四日の日の光			漢字なら歌留多片やまひならカルテ	
	三日はや過ぎて四日の日の光	2023. 9. 25		遊ぶなら歌留多病院にはカルテ	
淑気	親指で新年のペン押し出だす	2023. 9. 29		遊ぶ子の歌留多ドクターにはカルテ	
	新年のペン握つて親指で			医者の上にカルテ遊ぶ子に歌留多	
	カチカチと新年のペン先を出す			独逸語にカルテありける歌留多かな	
	新年のペン先を出す音を先づ			独逸にはカルテありける歌留多かな	2023. 9. 26
	新年のペン先を出す音が先			外つ国の歌留多やカルテ・カードかな	
	ペン先を押し出す音の淑気かな			外つ国より歌留多やカルテ・カードかな	
	ペン先をカチと押し出す淑気かな			外つ国より歌留多やカルテ・カードなど	
	カチコチと新年のペン先を出す			独逸ならカルテと言へる歌留多かな	
	ペン先をカチリ押し出す淑気かな			独逸ならカルテと言へる歌留多なり	2023. 9. 27
				独逸ならカルテともいふ歌留多なり	2023. 9. 28
初空	エンジンの丸く大きく初飛行	2023. 9. 29		取れぬ子の涙ながらの歌留多かな	2023. 9. 24
	エンジンの丸く大きく初御空			取れぬ子の涙ながらに歌留多取る	2023. 9. 25
	初御空飛ぶエンジンの大いなる			取れぬ子の涙ながらに取る歌留多	
	初御空飛ぶエンジンのまんまるな			取れぬ子の涙を拭いて取る歌留多	2023. 9. 26
	まんまるなエンジンで飛ぶ初御空			取れぬ子の涙を浮べ取る歌留多	
初日	地続きの地面の上に初日の出	2023. 9. 30		取れぬ子の涙を浮べ歌留多取る	
	地続きの地面の上の初日の出			取れぬ子の涙目にする歌留多かな	
	地続きの地面に親し初日の出			取れぬ子の悔し涙に取る歌留多	2023. 9. 27
書初	書初の筆ふつくらと真つ黒な	2023. 9. 30		幼子の悔し涙に取る歌留多	2023. 9. 28
	書初の筆ふつくらと重たけれ			弟の悔し涙に取る歌留多	
	書初の硯の海の静けさよ			弟の悔し涙に歌留多取る	
	書初の硯の海に波もなし				
	真つ黒な海書初の字を生めり			御慶	2023. 9. 29
	雪月花書初の字の漆黒の			回線で繋ぐ御慶にやや遅れ	2023. 9. 30
	雪月花書初の字の漆黒な			回線の御慶画像にやや遅れ	
	雪月花書初の字の匂ふなり			双六	2023. 9. 24
	雪月花書初の字のいい匂ひ			この世からあの世へ続く絵双六	
	書初の雪月花のいい匂ひ			釈迦もゐるあの世へあがる絵双六	
				蓮も咲くあの世へあがる絵双六	
				蓮の咲くあの世へあがる絵双六	
				釈迦の待つあの世へあがる絵双六	
				極楽へ上る地獄の絵双六	2023. 9. 25

年賀状	わが賀状も届きしころか、、、 かの人もわれの賀状を読むころか かの人も我の賀状を読むころか	2023. 9. 24
乗初	乗り合はず人に幸あれ初電車 乗り合はず皆に幸あれ初電車	2023. 9. 29 2023. 9. 30
福寿草	モニターを切れば真つ黒福寿草	2023. 9. 29